



日頃は本校の教育活動にご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。日に日に暑さが増しているように感じる毎日ですが、生徒たちは元気に学校生活を送っています。1学期も残りわずかとなり、学習面、生活面ともに、しっかりと振り返りをしていきたいと思えます。また、これから自分がどのようなことを頑張らなければならないのかを一人一人に考えさせ、夏休みを有意義なものにできるよう、指導していきます。健康管理については、学校でも十分に気を付けていきます。ご家庭でも、十分な食事や睡眠をとるように声を掛けてください。よろしくお願ひします。

令和5年度 学校努力点について

【テーマ】

互いに高め合うことのできる生徒の育成 ～「関わり合い・支え合い・認め合う」活動の工夫～

昨年度より、このテーマで、教科指導を中心として取り組んでまいりました。1月末に実施したアンケートでは、「友達と考えを出し合い、高め合いながら学習に取り組んでいる」と感じられている生徒が92%という高い結果が得られた一方で、学校関係者については73%に留まり、普段の生活等まではまだまだ深まりが足りないことが分かりました。



そこで、本年度も、「教科指導」「道徳・特活指導」「生徒指導」「学級・学年経営」の中で、関わり合い・支え合い・認め合う活動を工夫し、互いを高められていると実感できる生徒を育てていきたいと考え、努力点を設定しました。

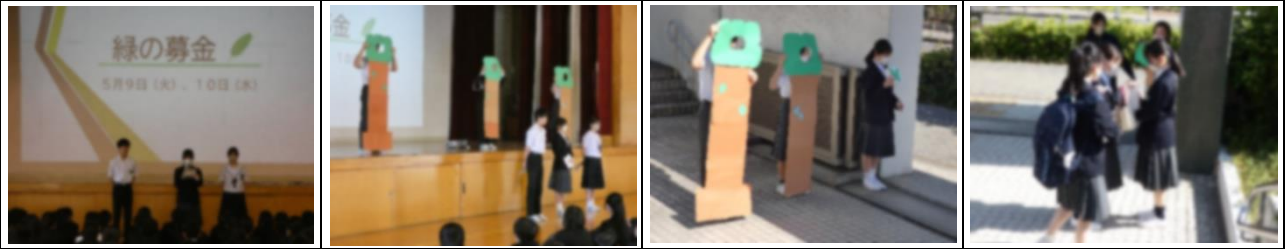
①「教科指導」について

下の写真は、3年生の理科学習の様子です。2つのグループが別々の実験を行い、得た結果を他のグループと共有する活動を行いました。実験結果や考察を他グループに分かりやすく説明しようとする姿や、2つの実験結果から分かる考察について協議し合う姿が見られ、友達同士で互いに高め合いながら、学びを深めることができました。



②「特活指導」について

コロナも5類となり、体育館での全校集会が毎月行えるようになりました。裏面の写真は、生徒会執行部の皆さんが、緑の募金活動を行う様子です。全校集会では、身近な自然を題材としたクイズを交えながら、自然の大切さについて伝えることができました。活動後には、8660円の募金が集まりました。



③「生徒指導」について

生活委員会の企画として、友達への感謝の気持ちや、友達の良いところをカードに記入する「ありがとう！すごいね！カード」の取組を行いました。第一回の取組では、2000枚のカードが集まり、生活委員の皆さんが集約して土間に掲示されました。カードに自分の名前が書いてあり大喜びする生徒や、書いてくれた友達にお礼を言う生徒の姿が見られ、生徒の自己有用感の高まりを感じられました。



熱中症警戒アラートが発表されたら・・・

今年の夏も猛暑が予想され、特に、熱中症警戒アラートが発表された日には、十分な注意が必要です。酷暑期（7～9月）においては、ハーフパンツ登校（旧制服は体操服登校）を可とし（日傘やキャップは通年可）、この期間は、授業日でも経口補水液やスポーツドリンク（糖分の摂り過ぎに注意してください）も認めています。また、校内で暑さ指数（WBGT）を測定し、その数値に応じて活動内容を変更したり、活動を中止したりすることがあります。

活動内容の変更には、内容自体の変更の他、活動場所を変える、活動時間を短縮する（実働時間を減らしたり、休憩時間を増やしたりなど）、随時の水分補給や（ミスト）扇風機の活用、などがあげられます。運動時には、マスクを外すことを強く推奨しており、体調がすぐれないと感じたら自ら遠慮せずに申し出ることや、互いに様子を確認し合うことなどの声かけを行っていきます。

夏休み中の部活動では、屋内の部はエアコンを有効活用し、屋外の部では午前中を中心に活動を行うように計画しています。中学校の部活動では、夏季の大会自体が、酷暑であっても配慮をしながら行われており、校内でも大会時と同様の配慮をして暑熱順化をはかり、活動を進めていきます。

～ 部活動に関わる保護者の方へのお願い ～

部活動参加時は、より一層、健康管理にご留意ください。例えば、睡眠不足や朝食抜きは、熱中症を引き起こす一因となります。中学生になると朝食を摂りたがらないこともありますが、必要に応じてバナナやヨーグルトなどの食べやすいものを工夫するなど、必ず朝食を摂らせるとともに、練習前日は早寝をさせるよう、規則正しい生活への配慮をお願いします。

また、今は、コロナよりも熱中症対策が優先です。特に運動時には、積極的にマスクを外すようご家庭でもお声かけください。